



ヤマトヤシキ姫路店 1951年竣工当時(神戸新聞 HP より) この写真は南東方向からのものだと思います。今も面影が残っています。

## CONTENTS

- 1 3月の活動報告
- 4月の活動予定
- [アーカイブズ archives] ヤマトヤシキ姫路店
- 2 事業報告 建築相談

### 3月の活動報告

- 3.13 (火) 建築模型作り体験講座(県立ものづくり体験館)
- 3.22 (木) 建築相談(姫路市役所)
- 3.28 (水) 環境デザイン研修会(姫路建設会館)
- 3.29 (木) 構造学習会(姫路建設会館)

### 4月の活動予定

- 4.16 (月) 6役会(姫路建設会館)
- 4.18 (水) ものづくり大学校との交流会(県立ものづくり大学校)
- 4.19 (木) 環境デザイン研修会(姫路建設会館)
- 4.25 (水) 理事会(姫路建設会館)
- 4.26 (木) 建築相談(姫路市役所)
- 構造学習会(姫路建設会館)

### [アーカイブズ archives] ヤマトヤシキ姫路店

所在地: 姫路市二階町5-5 建築年: 1951年~1974年 設計: 村野藤吾  
ヤマトヤシキ姫路店は姫路で唯一の村野藤吾氏(1891-1984)による設計の建築物である。

村野藤吾氏は、国の重要文化財に指定されている「広島世界平和記念聖堂」をはじめ、昭和の数多くの名建築を手がけた関西を拠点とした建築家であるが、モダニズムとは一線を画したその有機的な造形に対する評価は今でも高い。

関西での商業建築では、2003年に惜しくも解体されたそごう大飯店が有名である。ヤマトヤシキは、一見、村野藤吾氏の設計とは分らないが、唯一?南側の塔屋のデザインは、そごう大飯店のファサードを思い出させてくれる。

敷地を「田」の字に分けて増築が行えるようにされており、1951年に鉄筋コンクリート造4階建の竣工後、1957年地上8階高さ43mの当時播磨一の高層ビルに増築をし、1981年までに4回の増築を行って売り場面積約17,000㎡にまで拡張した。

【2015.9 姫路建築探訪 石原 弘一】

(ヤマトヤシキ姫路店は2月末閉店し、解体される運びとなりました。)

### 活動報告 [第12回構造学習会]

3月29日(木)開催しました。出席者は16名でした。擁壁の設計について模型を使って解説していただき、演習を行いました。

小規模の擁壁くらいは構造設計に依頼しなくても、意匠系の建築士でも

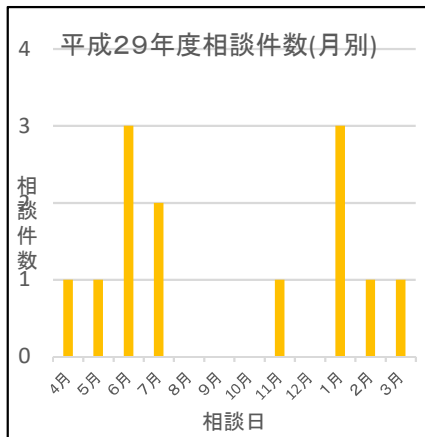


断面算定が可能であることをご理解いただけたと思います。

1. 相談内容

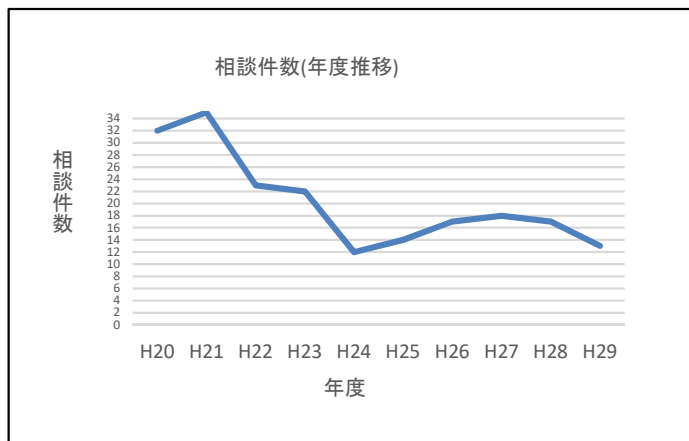
相談内容	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
事前の相談	1			1						1	1	1	5
相隣関係			1										1
施工者とのトラブル		1	1	1						2			5
建物の不具合			1					1					2
<b>相談件数</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>3</b>	<b>2</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>0</b>	<b>1</b>	<b>0</b>	<b>3</b>	<b>1</b>	<b>1</b>	<b>13</b>
担当員	小林 足立		小林	渡邊	吉田	上田	西嶋	吉田	上田	足立	渡邊	藤原	延 14名
				西田						西田			

2. 月別推移

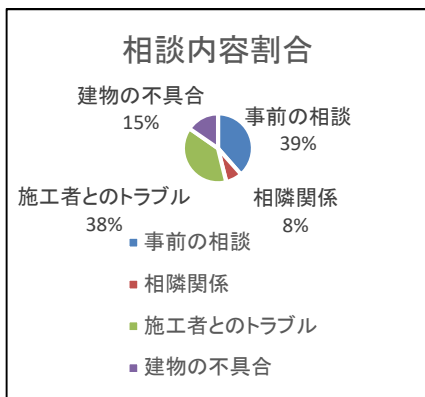


3. 年度別推移

相談件数									
H20	H21	H22	H23	H24	H25	H26	H27	H28	H29
32	35	23	22	12	14	17	18	17	13



4. 相談内容比率



5. 概評

毎月一回姫路市の市民相談に協力して、相談員1名を派遣しています。本年度は延14名の相談員で対応しました。相談は第四木曜日13.30～16.30(相談最終は16.00)開催しています。

平成29年度は、相談件数は13件となっており、相談者の人数は0～3人と月によってまちまちとなっています。相談の内容は今までと同様に多岐にわたる事前相談や施工者とのトラブル関係が多くをしめていました。